

【職員向け】

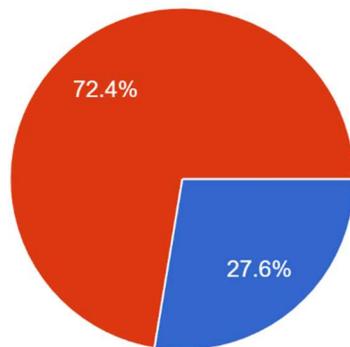
令和6年度の教育・保育活動等に対する評価アンケート

■評価対象 こころの育ち

① 園は、家庭的で温かい雰囲気での教育・保育に努めている。

評価対象 こころの育ち

29件の回答

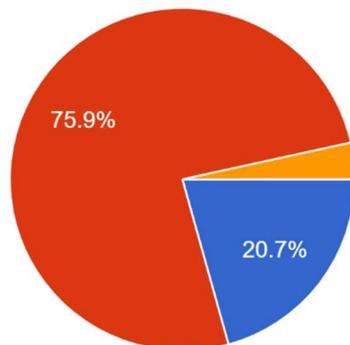


- A(十分に成果があった)
- B(成果があった)
- C(少しの成果があった)
- D(成果がなかった)

② 園は、環境設定を工夫して主体性・やる気を育てる保育を実践している。

評価対象 こころの育ち

29件の回答

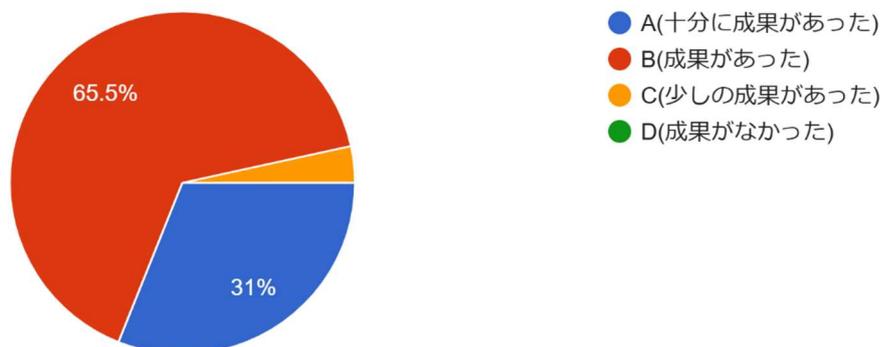


- A(十分に成果があった)
- B(成果があった)
- C(少しの成果があった)
- D(成果がなかった)

③ 園は、褒めながら子どもの意欲や自信などを育てるように接している。

評価対象 こころの育ち

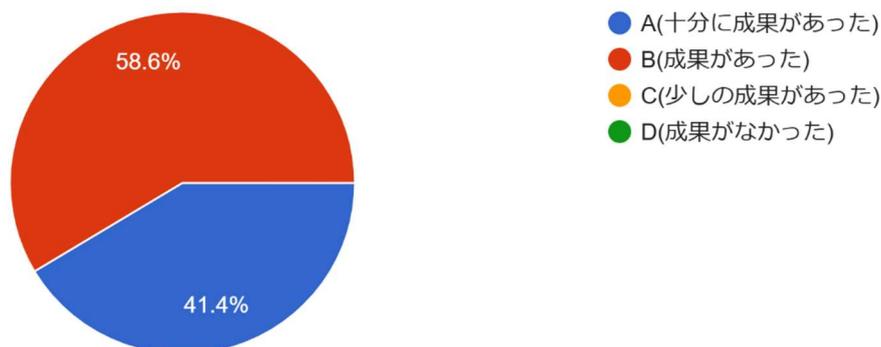
29 件の回答



④ 園は、子ども一人ひとりに目を向け、個に応じた手立てを講じている。

評価対象 こころの育ち

29 件の回答



■評価対象 こころの育ち

上記項目に対する意見や感想がある方は入力してください。(任意)

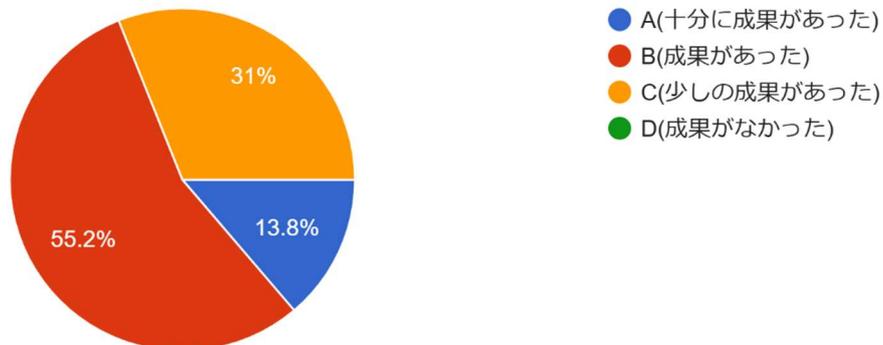
- ・一人一人に対して、意欲や自信に繋がるような言葉掛けをすることを意識して保育できた 担任をしているクラス以外の園児にも積極的に関わり、温かみのある保育に努めた
- ・その都度、その子その子の心に寄り添って関わりがあると思います。
- ・情報共有をし一人一人の様子をみて保育していると思う。環境設定については主の先生方が、子どもたちの様子や年齢などを加味して考えてくださっていると感じている。

■評価対象 安全・環境整備

① 園は、保育室や園庭（バス運行）に対して安全に努めている。

評価対象 安全・環境整備

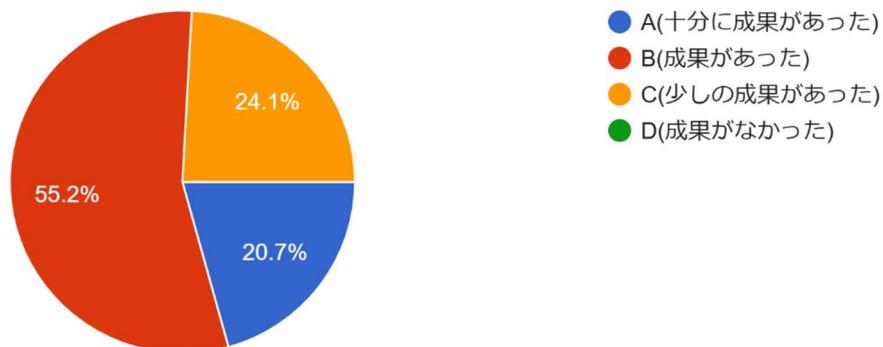
29件の回答



② 園は、感染予防対策・整理整頓・清掃を行い清潔にしている。

評価対象 安全・環境整備

29件の回答



■評価対象 安全・環境整備

上記項目に対する意見や感想がある方は入力してください。(任意)

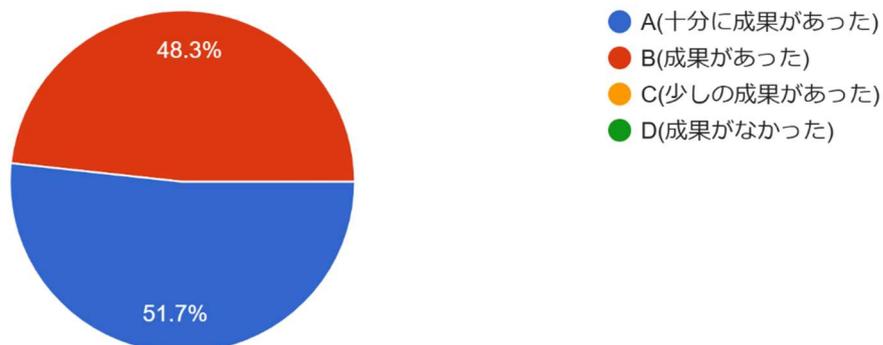
- ・その都度、環境に対応していると思います。
- ・園自体、または保育室に関して清掃や感染予防対策などができているのではないかと思います。
- ・保育室においてはケガにつながらないように、環境を整えるよう努めた。
- ・子供の活動が制限される（園庭に日影がない）
- ・窓掃除が困難、高所の外は危険なため職員以外の専門業者に依頼するようぜひお願いしたい。

■評価対象 情報管理・発信

① 園は、コドモン、園だより・掲示・ホームページなどで情報を発信している。

評価対象 情報管理・発信

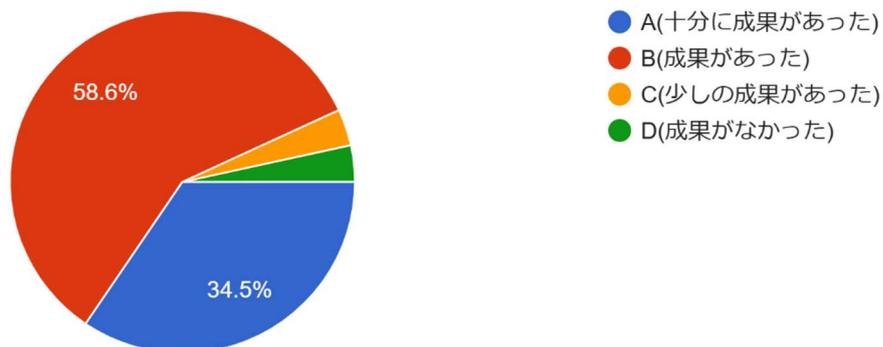
29 件の回答



② 園は、行事などの取り組みを家庭や地域に積極的に公開している。

評価対象 情報管理・発信

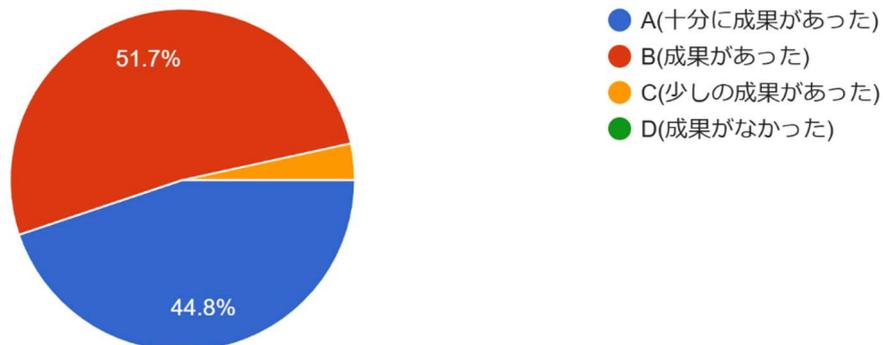
29 件の回答



③ 園は、子どもの様子を行事や参観日、お便り、ホームページなどを通して知ることができている。

評価対象 情報管理・発信

29 件の回答



■評価対象 情報管理・発信

上記項目に対する意見や感想がある方は入力してください。(任意)

- ・情報共有が、チャットやコドモンでスピーディだと思います。
- ・先生方が子どもたち生活や遊びの中での一つ一つの活動を写真にとって記録することで、保護者の方にお話しするだけでなく視覚から情報をお知らせすることができていると思う。
- ・普段の様子を毎日コドモンで連絡しない分、毎月のクラスだよりで日常を伝えられるよう意識した ブログやインスタでは担当者を中心に定期的に配信ができていたので、感謝しかありません。

■最後に、上記評価項目以外で、園の行事や活動に対して意見や要望がある方は入力してください。(任意)

- ・絵画教室やリトミックなどあったら良いなと思います。
- ・運動会、おゆうぎ会と年長は1番出番があるため、覚えることがたくさんあったが、子ども達の意欲のおかげで最後まで楽しく取り組むことができた。その日々の成果を本番で保護者の方に見ていただけて嬉しかった。
- ・担任にとっては行事の負担も大きいのだが、勤務内でも準備できる時間があったので、例年と比べると少しずつ改善できてきた気がする。
- ・年長クラスを2人で保育できることが心強かった。
- ・先生方は園児達のために、心を込めて保育をしていると思います。
- ・行事が多いので、先生も園児も忙しい時があるのが大変そうです。園児に大人が与えるだけでなく、年長ぐらいになったら園児が園のために何をしたいか企画して実践していくのもよいかと思います。
- ・行事・活動・環境・保育観など、例年通りという考えではなく子どもにとって何がよいのかを考える必要があるが、その時間も必要。